

開催日：2024年2月19日（月）
13:00 – 16:00

第4回 九州支部講話会

オンライン時代のファシリテーション

～オンラインコミュニケーションをより良くするためのコツ～

講師：加留部貴行

九州大学大学院統合新領域学府 客員教授

早稲田大学マニフェスト研究所人材マネジメント部会 専門幹事

日本ファシリテーション協会 フェロウ



テーマ通り、今回は全員オンライン参加の形をあえてとり、さまざまな機能を使いながら、ファシリテーションでオンライン力を高める手法を“体感”しました。最後は、みんなで「ヒープ・スマイル♥」

九州支部では身に付けておきたいビジネススキルの一つとして、「ファシリテーション」を定期的に学び続けてきました。今回は「オンライン」をテーマに24名が参加。同じ小グループでの対話を4回も入れ、コミュニケーション力を高めることができました。

◆まず、「出席者ではなく参加者だ」と話す加留部先生の言葉に、「ファシリテーションも時代とともに進化していることを実感」というコメントや、「参加しやすい、参加していると感じる会議になるように、準備や工夫の大切さを詳しく知ることができ、実践したい」など、参加しやすい環境をつくることへの意識を高めました。

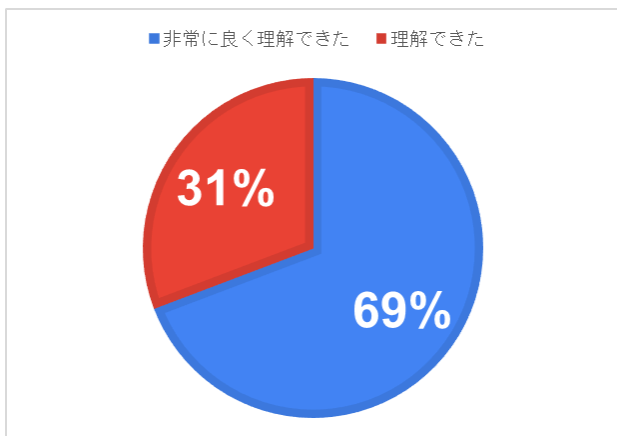
◆話の仕方、ペース、議題などの配分、機材セッティング、要約法、笑顔、ジェスチャーなどが役立つことを共有できました。

◆ブレイクアウトのグループ分けは3～4名で行われました。「時間を短くして、少数は交流が深まるのを実感」「最後は友だちみたいな雰囲気になって、楽しかった」。コメントの通り、少人数だからこそその“対話が生む力”も感じることができました。

◆ファシリテーションを学びながらオンラインのことを深めていく手法、この二度おいしい内容に「日々のオンラインに直ぐに役立つ内容」「充実したものにするためにたくさんできることがある」「オンライン会議に関する認識を改めて言語化して再整理ができた」「何を意識しないといけないのか明確になりました。チェックメモをつくって意識し続けたい」など、参加者であり、リーダーや主催者となる自身の立ち位置も、さらに深めることができましたようです。

【参加者さまの声】 回答13名

■講話会について



◆オンラインの話し合いを行う上で参加者が参加しやすい、参加していると感じる会議になるように、準備や工夫の大切さを詳しく知ることができ、実践していこうと思いました。

ブレイクルームで、実際に毎日オンラインを利用されている方のお話なども聞けて、先生のお話と共に聞くことで理解が深まりました。

◆オンライン会議に関する認識を改めて言語化して再整理ができました。

◆オンライン会議を充実したものにするためにたくさんできることがあると思いました。

日々のオンラインに直ぐに役立つ内容でした。

◆これまで何となくで行っていたことを具現化していただき、何を意識しないといけないのか明確になりました。忘れないよう準備の際のチェックメモを作って、意識し続けたいと思います。

◆講和会に参加させていただきありがとうございました。非常に参考になりました。

・今まで学びながら対応していたことが整理できました。参加者側の気持ちが改めて分かった

◆10分のブレイクアウトルームを同じメンバーで4回というのは、はじめてでした。最後は友だちみたいな雰囲気になって、楽しかったです。

◆オンラインのファシリテーションを改めて確認できました。

◆出席者ではなく参加者の意識を持ってもらうように勧めます

◆ファシリテーションも時代とともに進化していることを実感しました。

■取り上げてほしいテーマ

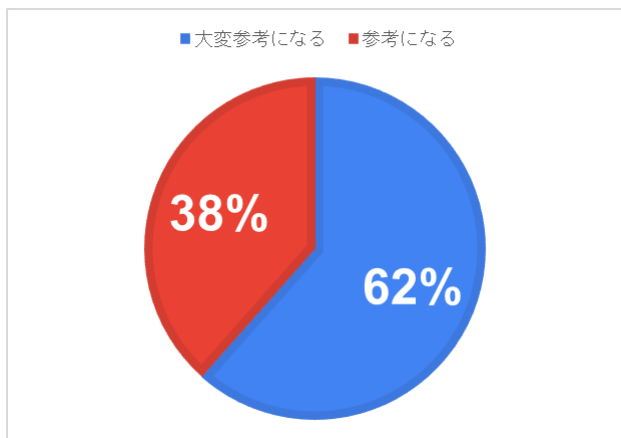
・若手スタッフとのコミュニケーションや仕事に対する意識の違いなどを取り上げていただきたいです。

・人事教育・マネジメント・リーダーシップ・コーチングなど。

・大企業から今イノベーションが生まれにくくなっていると言います。やはり日本らしい「力」になる部分に、ヒーブを考え学ぶことで、社会貢献できる部分をみんなで探ることがこれからは一つ重要なと感じます。

【参加者さまの声】 回答13名

■ワークショップについて



◆参加しやすい環境作りの為に、アイスブレイク、ブレイクアウトを用いて、容易に参加しやすい、意見を言いやすい、皆んなで参加する会議らしい会議を作っていたと思います。

◆初めての言葉が沢山出てきて難しいところもありましたが、オンラインの会議や研修でファシリテーターの立場になった時の役割などが、自分の中で理解できたような気がします。参加する立場の時にも同じ気持ちで臨めると思いました。

◆加留部先生のお話の仕方、ペース、議題配分等が参考になりました。

◆要約やジェスチャーなど、わかりやすく表現していきたいと思います。

◆ブレイクアウトルームでキッズプランニングの方とも一緒しました。マスク越しでしたが、その方は話される時には必ず笑顔を絶やさず、優しいお顔で話されていました。毎日小さなお子さんと接する中で当たり前にされてきたことなのかもしれませんが、画面越しの笑顔は場の雰囲気をととても柔らかくしてくださいました。表情、笑顔の大切さを実感したアウトブレイクルームになり、先生のご講義と相まって、とても良い機会になりました。ありがとうございました。

◆ハイブリット開催が増え、ハイブリットでの事務局の難しさを実感していたので、実際の器材セッティングのお写真は大変勉強になりました。見せ方・伝え方を意識して実践していきたいと思います。

◆職務上、社内のオンライン会議で事務局をする機会が多くありますので今回教えていただいた内容を活かしていきたいと思います。

◆具体的でわかりやすかったので会議の時に活用したい
◆これまではブレイクアウトルームを5～6人で行っていたのですが、時間を短くして少数（3人）は交流が深まるのを実感しました。

◆1.5～2倍の準備の必要性を実感しました。

◆ファシリテーターについて大変参考になりました。いつも行っているZOOM会議がアップデートするように先生からのお言葉を心がけようと思います。

◆トータルした人間力が必要になってくると痛感しました。自分は足りているのか、進んでいるのかを、常に謙虚に自問自答したいと思います。